



# がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

## がん治療中は、 心臓・血管のケアも大切です

ハートセンター内に  
「腫瘍循環器外来」が開設されました



順天堂大学医学部  
循環器内科学講座  
特任准教授  
宮崎 彩記子

### がんと心臓の関係

がんに対する治療の進歩はめざましく、がん患者さんの生存率は大幅に改善されています。その一方で、がんの治療中に心不全や血栓塞栓症をおこしてしまう患者さんがいます。また、高齢化社会に伴って、もともと心筋梗塞や弁膜症などの心臓病をお持ちの方が、がんになることも少なくありません。そこで「腫瘍循環器」という、がんと心臓病の両方をカバーする新しい診療領域が必要となり、順天堂医院でもハートセンター内に「腫瘍循環器外来」が設置され、がん診療科と循環器内科の連携のための窓口となっています。



#### 心不全とは？

心臓のポンプ機能が正常に働かなくなり、全身に必要な血液を送り出せない状態を心不全と呼びます。

#### 心不全の症状は、どんなものがある？

- ① 階段や坂道での息切れ
- ② 足のむくみ
- ③ 動悸

次のページをご覧ください。➡

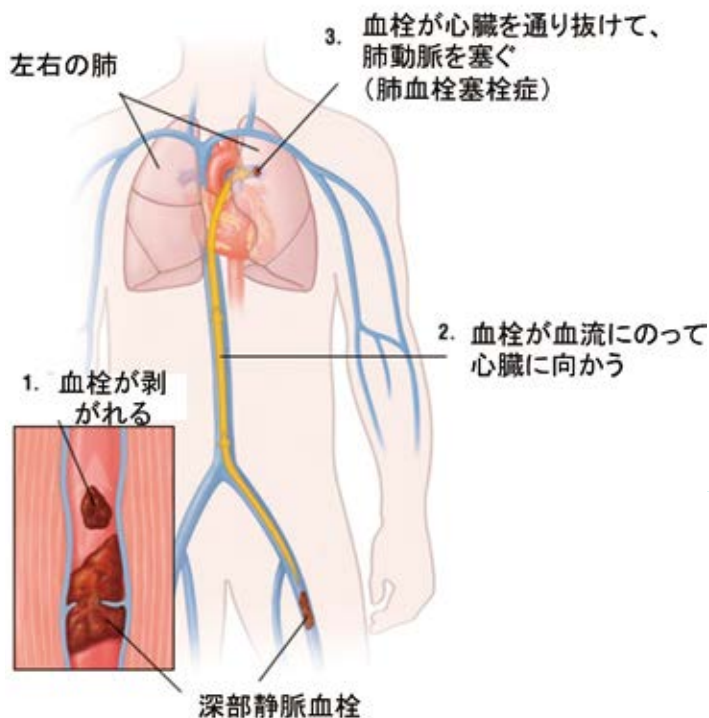


## 心不全をおこす可能性のあるがん治療薬

アントラサイクリン系抗がん剤は以前から心不全の副作用があることが知られており、投与量が多いほど心不全の可能性が高まります。乳がんなどで用いられるトラスツマブは、アントラサイクリン系抗がん剤と異なり、投与量とは関係なく心不全を引き起こすことがあります。また新しいタイプのがん治療薬である「免疫チェックポイント阻害薬」では、頻度は少ないものの、劇症型心筋炎とよばれる重篤な副作用が報告されています。



## がんに伴う静脈血栓塞栓症 (深部静脈血栓症+肺血栓塞栓症)



### 深部静脈血栓症とは？

足や骨盤内の静脈に血液の塊(血栓)ができた状態。心臓に戻る血液がうっ滞して、足がむくんだりします。

### 肺血栓塞栓症とは？

深部静脈血栓が血管から剥がれ、血流によって心臓に向かい、最終的に肺動脈を塞いでしまう状態。重症の場合、命に関わる可能性があります。

以前からがん患者さんには静脈血栓塞栓症が多いことが知られていました。血栓症とは血管内で血栓という血のかたまりができてしまうことで、肺血栓塞栓症とは足の静脈などにできた血栓が血流によって肺動脈を塞いでしまう、命にかかわる危険な状態です。足の静脈に血栓ができると血液がスムーズに心臓に戻らなくなるため、足がむくんだり、押すと痛んだりします。





# がん治療による心血管合併症の予防と対応

## 1. 心不全の自覚症状

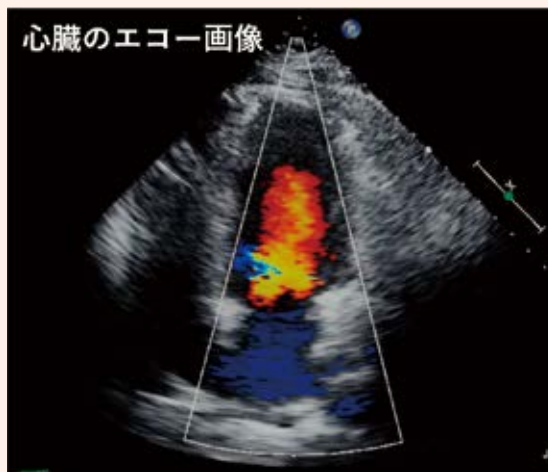
心不全は軽症のうちに対応することが大切です。「息切れ」「むくみ」「動悸」などの症状を感じたら、主治医に相談しましょう。貧血などでも同様な症状をおこすため、必ずしも心不全とは限りませんが、心臓の検査を行います。

## 2. 家庭でも血圧を測定しましょう

高齢、高血圧症、糖尿病、高コレステロール血症、喫煙などは、がん治療に伴う心血管合併症の可能性を増加させます。家庭でも血圧を測定するようにしましょう。

## 3. 定期的な心電図、心臓超音波検査が早期発見に有用です

化学療法を始める前には通常、心機能のスクリーニング検査を行います。心不全の報告が比較的多い治療薬を用いる場合は、治療中の定期的な心臓超音波検査が副作用の早期発見に役立ちます。



## 4. がん診療医と循環器内科医が連携して治療にあたります

がん治療の目的が達成されるように、がん診療医と循環器内科医は連携して治療にあたります。いずれの副作用も早期発見・早期対応が大切ですので、気になる症状がある場合には、いつでも主治医の先生や循環器内科医にご相談ください。



# 旬の食材

今回は、日本人にとって古くから親しまれている「大根」についてご紹介します。大根は、スーパーの店頭では一年中見かけますが、代表的な冬野菜です。冬場の大根の方が、みずみずしくて甘味も強いので、煮物や和え物、サラダなど幅広く利用できます。

栄養部 渡邊 佳代

## <大根の成分:イソチオシアネートについて>

昔から「大根おろしに医者いらず」といいますが、大根に含まれるイソチオシアネートが持っている効果は殺菌作用。この殺菌作用から、大根のおろし汁でうがいをすると、口内炎や虫歯、歯肉炎など口の中の炎症に効果があると言われています。さらに、はちみつを加えると咳や喉の痛み、声枯れ、二日酔いを治す効果もあると古くから民間療法に活用されています。



## <注目したい葉の栄養素>

根よりずっと多くのビタミンCを含み、根の部分には含まれないβカロテンも豊富で抗酸化作用が期待できます。さらに、ビタミンB1・B2、カルシウム、鉄などの成分を含み、まさに栄養の宝庫といえます。この貴重な栄養を捨ててしまうのはもったいないため、葉も捨てず、普段の食事に取り入れましょう。

## 質問 コーナー

(第23回市民公開講座の参加者アンケートより)

Q: 日本人(東洋人)と欧米人(西洋人)の飲食習慣による違いは、「扁平上皮がん」と「腺がん」の発生率に影響はあるのでしょうか。

A: もちろん飲食習慣の違い(欧米人のほうが高脂肪食、赤みの肉食が多い等)もあるかとは思いますが、むしろアセトアルデヒド分解酵素の違い(欧米人はほぼ100%酵素を持っているが日本人の4割は不十分な酵素しかもたない)やピロリ菌感染率の違いなどのほうが発生率に対する影響が大きいのではないかと思います。

●回答者 順天堂大学医学部上部消化管外科学講座

教授 峯 真司

# がん治療センターからのお知らせ

▶ 予約・お問い合わせ…03-5802-8196

## (A) ミニレクチャー (要予約・定員20名)

テーマを決めて、約20分間の内容の講義を行い、質疑応答の時間を設けています。  
テーマが変更になる場合もございますので、申し込み時に確認をお願いいたします。

2020年 1月18日(土)	①大腸がんについて	10:00～	大腸・肛門外科
	②がんの痛みを和らげよう(薬物療法について)	10:50～	緩和ケアチーム
3月21日(土)	①食道がんについて	10:00～	食道・胃外科
	②がん治療と食事について	10:50～	栄養部

場所…順天堂医院 D棟7階会議室 時間…10:00～11:30

## (B) がん茶論 (要予約・定員20名)

他の患者さんの体験を聞いたり、他の家族の方からアドバイスを受けたりする場を提供しています。

1月8日(水)、2月1日(土)、3月7日(土)、4月4日(土)、5月13日(水)

※平日開催希望者が増えてきた為、1月と5月は平日(14:00～16:00)の開催とさせていただきます

場所…がん治療センター 1号館 3階

時間…10:00～12:00

## (C) アピアランス講習会 (要予約・定員20名)

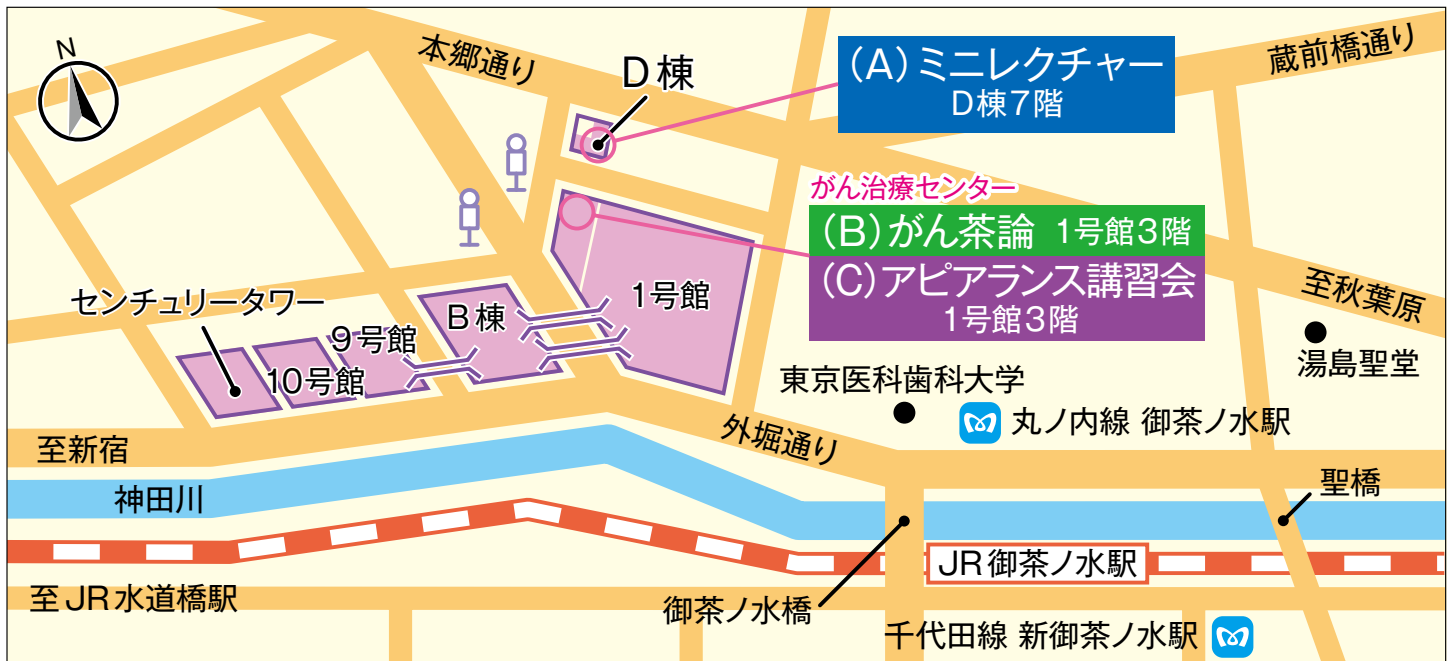
講習会后展示会(ウィッグ・下着)も開催いたします。お気軽に性別問わずご参加ください。

※アピアランスとは「外見」という意味です。

2月15日(土)、4月18日(土)

場所…がん治療センター 1号館 3階

時間…10:00～11:30



最寄駅からの  
アクセス

- JR線 「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口)……………徒歩約5分
- 東京メトロ(丸ノ内線) 「御茶ノ水」駅下車……………徒歩約5分
- 東京メトロ(千代田線) 「新御茶ノ水」駅下車(B1出口)……………徒歩約7分

## がん治療センターニュースレター

[2020年1月 第32号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>





# 小児緩和とグリーフケア

公認心理師・臨床心理士  
西尾 温文

15歳までに診断される小児がんの治療成績は、1990年代以降著しく改善し、今では小児がんの80%以上が治癒するようになったと言われています。子どもの年齢にもよりますが、多くの病院で保護者が異を唱える場合を除いて、子どもに小児がんと説明するようになりました。ところが、治療の見通しが悪い場合に、子ども本人にそのことがほとんど伝えられてはいません。

心理学の知見によると、子どもが死を理解するのは小学校低学年であるとされています。すると、死を理解できたとしても、いずれ自分が他の子より先に亡くなることについて知らされていない子が少なくないことになります。

子どもにいずれ亡くなることを伝えられないのは、親や医療者が子どもの死を恐れ、受け入れられないからではないでしょうか。その結果、子どもに死の恐怖を与えるのは可哀想と死についての話を避けるのです。死を話題にする困難さは大人の側にあると言えるでしょう。

遺族は亡くなったあの子が何を思っていたかを知りたいと言います。別れを告げられなかったことを後悔します。亡くなる子と悲しみを共有できた家族はまだ稀です。

2013年9月号から19回に渡り小児緩和とグリーフケアについて執筆させていただきました。本号で最後の掲載となります。ありがとうございました。



写真と本文は関係ありません。

写真提供:一般社団法人エッグツリーハウス

あとがき

明けましておめでとうございます。今年はオリンピックイヤーです。平和の祭典が無事行えるようにと神様に祈願された方も多いのではないのでしょうか。オリンピックで活躍する選手を見ると、みなさんさすがアスリート、速く、美しく、強くを体現しています。一方、私は、ゆっくり、美しいかどうかは別として、弱くてもいいじゃないと今年も日々を送りたいと思います。超人が集い競うのがオリンピックとすると、凡人は競わずのんびりしています。

オリンピックはきっと多くのドラマを見せてくれることでしょう。そこに居合わせられる幸せを感じます。と同時に自分が誰か、家族と一緒に過ごせるのもまた幸せなことと思います。

公認心理師・臨床心理士 西尾 温文